

『歴史・文化・自然・人々』

倉敷市内・会場から日帰りで行く
名所50選

『歴史・文化・自然・人々』倉敷市内・会場から日帰りで行く名所50選

このたびの第33回電頭サマースクール開催にあたり、遠路をお越しいただく皆様に当地倉敷、岡山、そして古の吉備国の名所を選び『歴史・文化・自然・人々』をご案内します。ご覧のように、この地は古より歴史が古く、豊かな文化を育み、また美しい自然に恵まれ、その中で人々が生き、人物を輩出してきました。これらの名所は全て会場・倉敷から日帰りで行けるところばかりです。場所の選択や案内文などは一般観光用パンフレットとは異なりますが、学会、サマースクール、そして参加の皆様の趣向に合わせて執筆した素人の拙文で恐縮です。いずれも実際に訪ねたところで、お役に立てれば誠に幸いです。

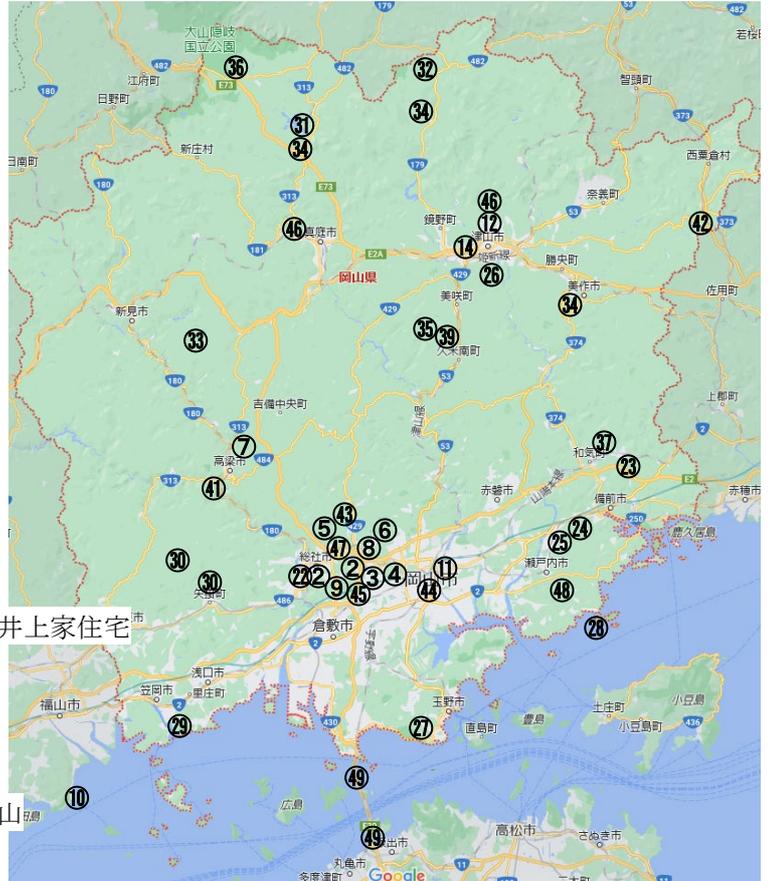
第33回電頭サマースクール実行委員長 樋田 一徳

写真提供（順不同）：

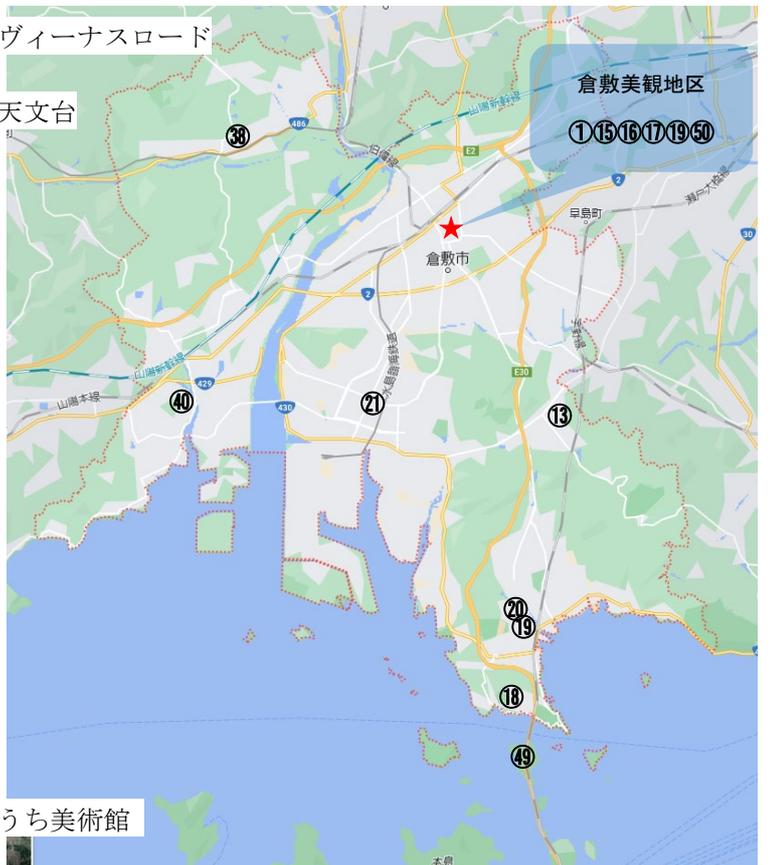
岡山県観光連盟、倉敷市観光課、一般社団法人高梁市観光協会、一般社団法人真庭観光局、公益社団法人津山市観光協会、美星天文台、倉敷アイビースクエア、後楽ホテル、フォトAC

- 01 阿智神社
- 02 造山古墳 作山古墳 古墳群
- 03 吉備津神社
- 04 吉備津彦神社
- 05 鬼ノ城
- 06 最上稲荷
- 07 備中松山城 城下町高梁
- 08 備中高松城址 清水宗治
- 09 備中国分寺
- 10 鞆の浦 足利幕府
- 11 岡山城 後楽園
- 12 津山城 鶴山公園
- 13 五流尊瀧院 大久保利通
- 14 城西浪漫館 中島医院 津山高
- 15 倉敷美観地区
- 16 大原美術館
- 17 倉敷アイビースクエア
- 18 むかし下津井回船間屋
- 19 旧大原家住宅、大橋家住宅、旧野崎家住宅、井上家住宅
- 20 児島ジーンズストリート
- 21 水島臨海鉄道
- 22 総社駅 井原鉄道 桃太郎線
- 23 旧閑谷学校
- 24 備前焼の里：伊部界限～南大窯～北大窯～熊山
- 25 備前長船刀剣博物館
- 26 津山まなびの鉄道館
- 27 王子が岳公園 渋川海岸
- 28 日本のエーゲ海 日生 邑久、牛窓、前島、ヴィーナスロード
- 29 笠岡市立カブトガニ博物館
- 30 中国地方の子守唄：山陽道～矢掛本陣～美星天文台
- 31 はんぎきセンター
- 32 人形峠 妖精の森ガラス美術館
- 33 羅生門 新見
- 34 湯郷温泉 奥津温泉 湯原温泉
- 35 北庄棚田・上初棚田 久米南町
- 36 蒜山高原
- 37 和氣神社 和氣清麻呂
- 38 吉備公館址 まきび記念館 吉備真備
- 39 誕生寺 法然
- 40 円通寺 良寛
- 41 山中鹿介墓
- 42 二刀流の里 武蔵資料館
- 43 緒方洪庵誕生地
- 44 岡山表町オランダ通り 楠本イネ
- 45 犬養木堂記念館 犬養毅
- 46 谷崎潤一郎疎開宅
- 47 雪舟生誕地公園
- 48 竹久夢二 郷土美術館 生家記念館
- 49 瀬戸大橋 櫃石島 東山魁夷 東山魁夷せとうち美術館
- 50 大山名人記念館 大山康晴

岡山県: 2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.14.22.23.24.25.26.27.28.29.30
31.32.33.34.35.36.37.39.41.42.43.44.45.46.47.48.49



倉敷市: 1.13.15.16.17.18.19.20.21.38.40.49.50



・01 阿智神社

倉敷・美観地区の北に鶴形山と呼ばれる山があり、その山頂には阿智神社がある。その歴史は古く、日本書紀に応神天皇 20 年（291 年）に倭漢直の祖阿知使主一族が渡来したと記されていることが始まりで、阿知の地名の由来になっていると同社は説明している。祭神の宗像三女神は海の守り神。このことから、古来この辺りは海上交通の要所で、よって今より海岸線が近く、時代を経て地形が変化したと推測できる。麓には倉敷本町や東町といった倉敷中心街が栄え、江戸期には代官所や蔵出し港もあったことから倉敷の人々の崇敬を集めた。御神徳は、交通安全・海上安全・美容健康・芸能上達・商売繁盛で、古代から現代までの人々共通の願い事のご利益にあやかれる。



岡山県倉敷市本町 12-1 JR 倉敷駅から徒歩約 15 分 <https://achi.or.jp/>

・02 造山古墳 作山古墳 古墳群

古代『吉備国』は、北の『出雲国』、西の『筑紫国』、東の『大和国』と共に古代 4 大王国として栄えたと記紀は伝え、その大王の墓が造山（つくりやま）古墳である。5 世紀中頃と推定、墳丘長 350m、高さ 29m の前方後円墳は 3 つの天皇陵に次ぐ全国 4 番目の規模、立入りできる古墳としては国内最大である。5 キロ東の全国 10 番目の作山（さくやま）古墳などもあり、「晴れの国」と言われる安定した自然が、往時の豊かさを生んだろうか。2015 年から始まった発掘は昨年以後円墳に至り、埋葬施設と思われる石室の調査が今も行われている。



[造山古墳]

岡山県岡山市北区新庄下 JR 備中高松駅からタクシーで約 10 分

[作山古墳]

岡山県総社市三須 JR 総社駅から総社バスで「サンロード吉備路バス停」下車、徒歩 10 分

<https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/632636.html>

・03 吉備津神社

記紀時代の吉備国は、持統天皇3年（689年）飛鳥浄御原令により備前、備中、備後に、更に和銅6年（713年）に備前から美作が分かれた。吉備国総鎮守社の吉備津神社は備中一宮でもある。備前との境の吉備中山の北西麓にあり、社伝は祭神を第7代孝霊天皇第3皇子の大吉備津彦命（中山茶臼山古墳が墓と伝承）とし、古代は朝廷、中世は武家に信仰される。足利義満が造営した現本殿は、全国唯一の比翼入母屋造（吉備津造）で、拝殿と共に国宝に、社殿3棟が国重要文化財に指定される。美しい曲線回廊、回廊途中の釜殿の鳴釜神事も有名である。臨済宗開祖の栄西は同社権禰宜の子として生まれる。大吉備津彦命は吉備国で暴れた温羅（うら）一族を討伐し、大吉備津彦命を桃太郎、温羅討伐を鬼退治、お供をした犬飼、猿飼、鳥飼という家来を犬・猿・雉（きじ）とする桃太郎伝説がある。近隣出生で、犬飼の子孫の犬養毅は社号を揮毫する。吉備津神社に参拝すると、古代からの伝説、歴史、自然、文化を深く感じるのである。



岡山県岡山市北区吉備津 931 JR 吉備津駅から徒歩約 10 分 <https://kibitujinja.com/>

・04 吉備津彦神社

備前一宮の吉備津彦神社は、社伝では推古天皇時代に創建という。吉備中山の北麓にあり、備中一宮の吉備津神社からは 2km 弱、徒歩でも 30 分以内で到着する。吉備津神社と同じく祭神は大吉備津彦命、その住居跡に社殿が創建されたのが吉備津彦神社の起源と言われる。戦国時代、この地周辺の多くの武将、中でも岡山城主・宇喜多氏は崇敬し、高松城水攻め前に羽柴秀吉も戦勝祈願したという。その後江戸期になって、岡山城主池田綱政が元禄 10 年（1697 年）社殿を完成させた。しかし昭和 5 年（1930 年）、失火により本殿と随神門以外の社殿・回廊を焼失し、現在の社殿は昭和 11 年（1936 年）再建のものである。毎年 8 月 2 日、3 日に行われる御田植祭は県無形文化財、国選択無形民俗文化財に指定されている。



岡山県岡山市北区一宮 1043 JR 備前一宮駅から徒歩約 3 分
<https://www.kibitsu.hiko.or.jp/>

・05 鬼ノ城

総社市北方の標高 397m の鬼城山の頂に「鬼ノ城」と呼ばれる山城が 7 世紀後半に築かれた。珍しい古代の山城として公園整備がなされ、山頂近くまで車で、その先は遊歩道として辿り着くことが出来る。この地は吉備高原南端、雄大な吉備平野が一望でき、まさに絶景である。北部九州の那の津（現福岡市）と近畿の難波津（現大阪市）は、大陸勢力に対する大和朝廷の防備の拠点港であったが、その中間点に吉備津（現岡山市）がある。吉備津から 10km 余西方の鬼ノ城も倭国防衛の国家事業の築城だったことが想像され、往時の緊張した国際情勢を垣間見る思いである。



岡山県総社市奥坂 JR 総社駅からタクシー約 30 分、下車徒歩約 10 分

<https://www.okayama-kanko.jp/spot/10755>

・06 最上稲荷

岡山から桃太郎線で、また平行する国道 180 号を総社へ向かうと、備中高松駅に着く直前に右手に巨大な鳥居が現れる。これが、伏見稲荷（京都）、豊川稲荷（愛知）と共に日本三大稲荷に数えられる「最上稲荷」の大鳥居である。最上（さいじょう）稲荷は、正確には最上稲荷山妙教寺、天平勝宝 4 年（752 年）創建と伝わり、その後、天台宗を経て、現在は日蓮宗のお寺である。参道から境内に辿り、更に山道を奥の院まで至ると吉備の平野が一望できる。最上稲荷 HP に、「安心（あんじん）こそは最上の幸せなり」とあるように、創建以来 1250 年余、地元民の厚い信仰を受け、お稲荷さんは人々の営みが「あんじん」であるよう見守っている。



岡山県岡山市北区高松稲荷 712 JR 備中高松駅からタクシー約 5 分

<https://inari.ne.jp/>

・07 備中松山城 城下町高梁

海拔 400m 余の臥牛山上にある山城、現存天守 12 城のひとつ。仁治元年（1240 年）秋庭三郎重信によって築かれ、現在の天守は 1683 年に完成して今に至る。山河に囲まれる城下町高梁からは 1 キロ半、車では途中までしか行けず、そこから徒歩 30 分程でようやく到達できる。築城後、城主や領地は多くの変遷を経たが、天守の姿は変わらない。秋から、冬、春にかけて明け方に雲海が現れ、真綿に浮かぶ美しい『天空の城』の姿が、近くの展望台から望める。2016 年の NHK 大河ドラマ『真田丸』のオープニング映像のロケ地として話題となった。



岡山県高梁市内山下 1 JR 備中高梁駅から 8 合目のふいご峠まで、乗合タクシー（片道 800 円／名 ※前日 17:00 までに要予約）、天守まで徒歩約 20 分
（高梁市観光案内所 0866-22-8666）

<https://www.city.takahashi.lg.jp/soshiki/9/shiro4240131.html>

・08 備中高松城址 清水宗治

秀吉水攻めで全国に知られる。毛利方の城主清水宗治は、天正 10 年（1582 年）6 月 4 日、城を囲む湖水の船上で切腹した。信長が本能寺で横死した 2 日後のこと、日本の歴史が大きく曲がり動いた転換点である。自らの一命と引き換えに全家臣の命を救った敗軍の将は、今もなお地元民の深い崇敬を受け、毎年 6 月第 1 日曜日に宗治祭が営まれている。城址には記念展示館と史跡公園があり、織田方の羽柴秀吉・黒田官兵衛・蜂須賀小六正勝・浅野長政・宇喜多秀家・石田三成、毛利方の毛利輝元・吉川元春・小早川隆景・安国寺恵瓊など、後の桃山時代の豊臣政権の武将達が揃って、周囲の山丘に対陣していたのである。



岡山県岡山市北区高松 558-2 JR 備中高松駅から徒歩 10 分

<https://okayama-city-travel.com/sightseeing/spot/589/>

・09 備中国分寺

高速道路山陽道の倉敷インターを出て左折、北方の総社に向かい生坂・西坂の峠を越えると、のどかな田園風景が広がる。その中に、実に立派な五重の塔が建つ。但し、良く目を凝らさないと分からないほど周りの風景に溶け込んでいる。備中国分寺は、第45代聖武天皇の詔によって奈良時代に創建。塔は最初七重と記録されているが、南北朝時代に焼失して廃寺となるが備中高松城主清水宗治が再建し、現在の建物は江戸時代の文政から弘化年間に再建される。境内の五重塔は江戸後期の建築様式を今に伝え、吉備路のシンボルである。東方には、備中国分尼寺跡もある。周辺は田野に囲まれた自然公園とも言え、地元の人々の憩いの場所として人気である。



岡山県総社市上林 1046 JR 総社駅からタクシー約 15 分、
レンタサイクル約 20 分（荒木レンタサイクル：0866-92-0233）

https://www.city.soja.okayama.jp/kanko_project/kanko/kannkou_bunnka/kankouti/kokubunji.html

・10 鞆の浦 足利幕府

広島県福山市南に位置する鞆地区。島と海辺、文化史跡の多い、風光明媚な景勝地。地域としては備後で、備前、備中、美作とともに、いにしへの吉備国でもある。南北朝時代動乱の折、足利尊氏がこの地で光厳上皇から新田義貞追討の院宣を賜り、それまでの劣勢を挽回したことから足利氏にとり縁起の良い場所であり、時は下り室町幕府 15 代将軍足利義昭は信長に圧倒された際も、家臣を引き連れこの地に下向し、『鞆幕府』とも呼ばれた。従ってこの地は、足利幕府の始まりの地であり、また終焉の地でもある。



広島県福山市鞆町鞆 JR 福山駅から鞆港行バス乗車 「鞆の浦」 or 「鞆港」 で下車約 30 分

<https://visittomonoura.com/>

11 岡山城 後楽園

岡山城は戦国時代に宇喜多氏の居城として、旭川の西南岸の小高い土地の、岡山に築かれた。その後、領主は小早川氏を経て池田氏となり、因幡国鳥取から池田光政が入封し、以後池田家代々が城主として明治に至った。天守は昭和6年(1931年)国宝に指定されたが、昭和20年(1945年)終戦ひと月半前の6月29日、岡山大空襲で石山門と共に消失。この為、焼失前の天守閣を実見した方のお話を時折お聞きすることがある。旭川北対岸中洲には後楽園があり、金沢の兼六園、水戸の偕楽園と共に日本三名園と讃えられる。藩主・池田綱政の命で着工、14年の歳月をかけ元禄13年(1700年)に完成した。岡山城や岡山市の周辺の間々を借景とし、元禄時代の庭園様式は、岡山一の観光名所として全国的にも有名である。



[岡山城] 岡山県岡山市北区丸の内2-3-1 JR岡山駅から徒歩約25分またはJR岡山駅から路面電車東山行き約5分「城下」下車、徒歩約10分 <https://okayama-castle.jp/>

[後楽園] 岡山県岡山市北区後楽園1-5 JR岡山駅から徒歩約25分またはJR岡山駅から路面電車東山行き約5分「城下」下車、徒歩約10分 <https://okayama-korakuen.jp/>

12 津山城 鶴山公園

美作国の主城。江戸時代は津山藩の城として森忠政が築城、その後、家康次男・結城秀康を祖とする越前松平家分家が親藩大名として入封し、明治維新まで至った。元は旧美作国津山の平山城。吉井川支流と天然の断崖を用い、77の櫓が並んだ大規模な城であったが、明治6年(1873年)の廃城令で取り壊され、石垣のみとなった。明治時代に写真撮影された津山城の勇姿が、津山郷土資料館に所蔵されている。その後、2002年から5年ほどをかけて備中櫓と土塀が再建された。現在お城は鶴山(かくざん)公園として整備され、桜の名所で、「日本のさくら100選」にも選ばれている。津山市街からは雄大な平山城の石垣を眺めることができ、春の桜は絶景、また夏の緑、秋の紅葉、冬の佇まいも城跡を美しく彩り、四季を通じた名所として、地元の人でも観光客も訪れる人は多い。



岡山県津山市山下135 JR津山駅から徒歩約10分
<http://www.tsuyamakan.jp/tour/detail/?pk=58>

●13 五流尊瀧院 大久保利通

明治維新三傑の大久保利通は、明治11年(1878年)5月14日、明治天皇へ拝謁の参内途中東京紀尾井坂で襲われ世を去った。その時乗車していた英国製馬車が当院に保存されている。大久保家から永代供養のため昭和16年寄進されたという。幕末・安政7年(1860年)の桜田門外ノ変の2週間後、大久保は薩摩藩国父島津久光に初お目見えし登用されたばかり。それから18年で明治政府の内閣制度発足前の初代総理候補となっていた。井伊家十四男に生まれ大老に昇った井伊直弼が武士の出立で籠登城、薩摩藩下級武家生の大久保利通は洋装で馬車参内、共に知命を前に凶刃に倒れ、「花の生涯」を終えた。籠から馬車、近世から近代への、激動の時代に国家の重責を担った両卿の、運命と無念をこの馬車から感じるのである。



大久保利通公の馬車



岡山県倉敷市林952 JR木見駅から徒歩約15分(馬車見学は事前連絡:086-485-0027)

<https://www.kurashiki-tabi.jp/see/234/>

●14 城西浪漫館 中島医院 津山高

津山市にある城西浪漫館は、隣接する和風会中島病院の本館として大正6年(1917年)建てられた。当時の診察室・待合室・処置室・検査室、病室などが良く保存されている。当院は、明治11年(1878年)中島大次郎が津山市高野本郷に開院した内外医術院が原点で、長男の中島琢之は東京帝国大学医科大学(現:東京大学医学部)を卒業後、日本医学専門学校(現:日本医科大学)内科部長職にあったが、地元の熱望により帰郷し、大正3年(1914年)津山市元魚町に私立中島病院を開業した。その後、地元名士の尽力で現在地に当館を建築し現在に至る。津山高校と共にNHK朝ドラ「あぐり」のロケにも使われ、国の登録有形文化財に指定される。浪漫館にはカフェがあり、珈琲を考案した津山藩医・宇田川榕菴に因み、江戸時代のコーヒー・ブレンドを再現した榕菴コーヒーが飲み、地元の手作りパン・お菓子・各種ティー・オリジナルグッズ等も購入できる。公私で何度も訪れるが、大正ロマンを満喫できる。



岡山県津山市田町122 JR津山駅から徒歩約20分

<https://nakashima-tsuyama.or.jp/kouhoushi/file/39> (和風会だより:Vol.94)

・15 倉敷美観地区

倉敷市の代表的な観光地で、美観地区景観条例に基づき定められた町並み保存地区である。岡山県、そして中国地方の代表的観光地の一つである。伝統的建造物群保存地区と伝統美間保存地区からなり、美観地区中央を流れる倉敷川周辺は、倉敷川畔伝統的建造物群保存地区として、国の選定を受けている。倉敷は江戸時代将軍直轄の天領で、倉敷代官所がこの地にあった。倉敷川畔から鶴形山の間は白壁なまこ壁の屋敷と蔵が、天領時代の町並みをよく保存している。旧大原家住宅、井上家住宅、大橋家住宅などの国の重要文化財の他に、倉敷館、旧中国銀行、旧倉敷郵便局などの伝統建築のほか、大原美術館、倉敷考古館、倉敷民藝館、倉敷物語館、加計美術館、星野仙一美術館（現在閉館）など、多くの個性的な展示館がある。また同地区内に、代官所跡の倉敷アイビースクエア、伝統的日本旅館など宿泊施設もあり、日本料理、外国料理（ハンガリー、トルコなど）の飲食店も数多く、移動距離も短く、環境客には必見、人気の場所である。



岡山県倉敷市中央 JR 倉敷駅から徒歩約 15 分

<https://www.kurashiki-tabi.jp/see-kurashiki/>

・16 大原美術館

公益財団法人大原美術館が運営する、日本初の私立西洋美術館である。明治期に、倉敷の紡績実業家大原孫三郎が洋画家児島虎次郎に託して収集した西洋、エジプト、中近東、中国の美術作品を展示するために（ニューヨーク近代美術館開館の1年後の）1930年開館した。代表的絵画としては、エル・グレコ『受胎告知』、モネ『睡蓮』など、ルノアール、ピサロ、ルオー、ロダン、ロートレック、ピカソ、マティス、ゴッコンなど数え切れない。これは児島虎次郎の秀逸な審美眼と事業の理解、大原孫三郎の児島への信頼が結実した結果である。このほか、東洋美術品や日本の民芸品も数多く収蔵展示している。倉敷が空襲を受けず、人々や町並みと共に戦災を免れたのも実に幸いであった。百聞は一見にしかず、とにかく訪問されたい。



岡山県倉敷市中央 1-1-15 JR 倉敷駅から徒歩約 15 分 <https://www.ohara.or.jp/>

・17 倉敷アイビースクエア

倉敷美観地区の一角に建つ、明治時代に建てられた紡績工場を改築活用した赤煉瓦に蔦の絡まるホテル。近代化産業遺産にも認定された。蔦（アイビー）は、工場の温度管理のために植えられた。江戸期の建物が立ち並ぶ美観地区で、白壁の蔵屋敷と赤煉瓦の洋風建築の見事なコントラストに加えて、四季折々の色なすアイビーの飾りは地元の風景となり、観光客を惹きつけてやまない。江戸時代、倉敷は天領であった。領主である将軍に代わり、この地を治めた倉敷代官所はかつてこの地にあった。明治となり廃藩置県により天領と代官所は廃止され倉敷県となり、明治4年（1872年）小田県に編入される迄、この地に県庁が所在した。往時を思わせる堀、井戸、石碑が敷地内にある。



岡山県倉敷市本町7-2 JR倉敷駅から徒歩約15分 <https://www.ivysquare.co.jp/>

・18 むかし下津井回船問屋

江戸から明治にかけて、大坂から瀬戸内海を西に下関を回り、日本海沿いに東に北海道松前を結ぶ国内海運航路・北前船があった。倉敷南端に位置する下津井は、北前船の寄港地として栄えた町。廻船問屋を改装した施設が整った、静かな海辺の観光地である。瀬戸内海にありながら、高梁川、そして児島湾との運河である倉敷川からの船荷運送が北前船により発展し、北日本や西国の珍しい産物も伝わり、近世・近代からの倉敷経済を支えた。時は移ろい、今は眼前に巨大な大橋がそびえるが、変わらぬ島々の景色が往時の人々の網膜にも投影しただろう。



岡山県倉敷市下津井1-7-23 JR児島駅から下津井方面行き（とこはい号）で約20分、「下津井漁港前」下車、徒歩約1分 <https://shimotsui-kaisen.com/>

・19 旧大原家住宅、大橋家住宅、旧野崎家住宅、井上家住宅

戦時中、岡山、水島は空襲を受けたが、倉敷中心街は残った。その白壁の街に国指定重要文化財指定の旧住宅が一般公開されている。倉敷美観地区にある「旧大原家住宅」は、大原美術館、倉敷絹織（現クラレ）創設者の大原孫三郎とその8代が暮らした。邸内は石畳、倉、邸宅、庭園、ブックカフェと、静けさの中で見学できる。他に同地区には重要文化財「井上家住宅」がある。同地区近くには江戸後期に塩田・新田開発により財をなした大橋家の「大橋家住宅」がある。代表的倉敷町家で、白壁に貼り瓦、倉敷格子など独特の建築様式、米蔵には生活用具が見られ、座敷に上られる倉敷唯一の国指定重要文化財である。児島の「旧野崎家住宅」は、江戸時代後期に塩田王・野崎武左衛門の住宅で、広大な敷地に主屋、6棟の土蔵群が軒を連ね、塩田の史料や江戸時代からの民具が展示している。いずれも周囲に高層ビルはなく閑静で、晴れの国にあり、往時を美しく明るく今に伝えている。



旧大原家



大橋家



旧野崎家



井上家



[旧大原家住宅]

倉敷市中央 1-2-1 JR 倉敷駅から徒歩約 15 分 <https://www.oharahontei.jp/>

[大橋家住宅]

倉敷市阿知 3-21-31 JR 倉敷駅から徒歩約 10 分 <http://www.ohashi-ke.com/>

[旧野崎家住宅]

倉敷市児島味野 1-11-19 JR 児島駅から徒歩約 25 分 <https://www.nozakike.or.jp/>

[井上家住宅]

倉敷市本町 1-36 JR 倉敷駅から徒歩約 13 分 <https://www.inoueke.jp/>

・20 児島ジーンズストリート

児島は、児島坂出ルートとして瀬戸大橋のかかる倉敷市最南端の町である。歴史は古く、記紀にも吉備国とともに登場する。東の下津井、西の牛窓・日生とともに、東西の海上航路の要所であるとともに、倉敷の西阿知、葦高、連島、藤戸、天城、加須山といった一連の島嶼様の地形から、南北の陸上交通の要所でもあった。この町は、明治時代から「繊維の町」として栄えて、1960年代に国内で最初にジーンズを生産した。最も栄えた味野商店街に「児島ジーンズストリート」と名付けられた通りがある。そこにはジャパニデニムのほかに、カフェや様々なショップがあり、若者を魅了するスポットでもある。



岡山県倉敷市児島味野 JR 児島駅から徒歩約 15 分 <http://jeans-street.com/>

・21 水島臨海鉄道

JR 倉敷駅の西隣にある倉敷市駅から水島工業地域へと線路で結び、旅客と貨物輸送を行う第三セクター鉄道である。撮り鉄、乗り鉄と、鉄道ファンは多いが、いずれのファンにも人気のキハ系車種があるらしく、沿線・駅構内にカメラ砲列をよく見る。この鉄道を15年前から3年ほど通勤に利用したが、70年代に鉄道通学をした昭和世代には懐かしい構造、音、匂い、手触り。思い出は尽きず、まさか半世紀後にこの地の通勤で利用するとは思わなかった。



岡山県倉敷市水島東栄町 12-46 (本社) 水島臨海鉄道 栄駅から徒歩約5分
<http://www.mizurin.co.jp/>

・22 総社駅 井原鉄道 桃太郎線

倉敷から山陰へ向かう JR 伯備線の総社駅には、倉敷を経由せずに岡山につながる桃太郎線(旧吉備線)と、福山市神辺町とを結ぶ第三セクターの井原線の、3路線が乗り入れている。桃太郎線は備前から備中の、井原線は備中から備後の田園地帯を駆け抜ける。桃太郎線の一部の区間と井原線の大部分は旧山陽道沿いで、古の人々も同じ地形を見ながら旅をしていたかと感慨に耽ってしまう。田園風景に囲まれた街並みに、また子育て支援が手厚い総社市は、岡山県一の人口増加率の人気である。地元ではパンの美味しい店が多いとの評判。



[総社駅]

岡山県総社市駅前 1-1 JR 倉敷駅から JR 総社駅まで伯備線で11分

https://www.westjr.co.jp/company/info/issue/bsignal/17_vol_172/area/

[井原鉄道]

岡山県井原市東江原町 695-1 (井原鉄道本店) 井原鉄道 早雲の里荏原駅から徒歩約7分

<https://www.ibara-railway.co.jp/>

・23 旧閑谷学校

岡山藩の名君池田光政公により開校した。延宝元年（1623年）に建立された講堂は国宝に指定されている。備前焼の瓦は古き学び舎を静かな山里に溶け込ませ、寸分の細隙もない木造建築の床の輝きには、時代を超えた人々の真心さえ感じる。士農工商の身分の別もなく、また他藩にも門戸を開いて子弟教育を行った、最古の私学校である。静寂の中に背筋を伸ばして、論語を読誦した若者たちの高らかな声が聞こえるようだ。



岡山県備前市閑谷 784 JR 吉永駅からタクシー約 10 分または、市営バス約 12 分
JR 備前片上駅からタクシー約 13 分または、市営バス約 15 分
<http://shizutani.jp/>

・24 備前焼の里：伊部界限～南大窯～北大窯～熊山

JR 伊部駅周辺に多くの備前焼窯元がある。古代、海辺の邑久（おく；現瀬戸内市邑久）あたりで祭器用の須恵器を作る職人集団が北方の熊山に移住し、苦勞して焼き物を作っていた。室町後期になり備前焼は茶陶として注目され、山を降り数十メートルの大窯を南北に築いて共用し、江戸期には生活の器として国中に普及した。祭器と茶陶という 2 大エポックを経て、備前焼は今も新たな可能性を求め、1500 年間絶えることなく火を焚き続けている。



岡山県備前市伊部 JR 伊部駅から徒歩約 5 分
http://bizen-kanko.com/spot/spot_detail/index/107.html

・25 備前長船刀剣博物館

備前長船は刀剣の里、古くから刀匠が名刀を作り出していた。戦国期、長船の福岡（現瀬戸内市長船町福岡）に黒田氏が居住、故に子孫の黒田孝高（官兵衛）が祖となる九州・福岡藩の名称の由来となった。その地に昭和58年（1983年）、長船町立として開館した刀剣常設展示博物館である。国宝『山鳥毛』の他、多くの刀剣、作刀、宝飾、鍛刀、工場の展示があり、また刀剣類や備前小刀・刃物類の展示・販売もされている。最近では刀剣女子の影響か、来館者の半数以上女性が占めることが多く、鋭い刃先に美を見出す眼は、さらに美しく輝いている。



岡山県瀬戸内市長船町長船 966 JR長船駅からタクシー約7分

<https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token/>

・26 津山まなびの鉄道館

津山まなびの鉄道館は、国内に現存する12カ所の扇形機関車庫の中で京都の梅小路機関車に次いで2番目の規模をほこる1936年建造の「旧津山扇形機関車庫」や、機関車収容線数17や収蔵車両を中心とするさまざまな展示施設である。躯体は鉄筋コンクリート・フラットスラブ構造で、道具置場、技工長室、修繕室、鍛冶場が置かれ、施設展示のみならず、津山に遺された鉄道遺産を後世へつたえることを目的としている。更に、鉄道がこの地に生きる人々の暮らしや社会の発展にどのように関わってきたのかを学ぶように、学習施設としての側面をもつ。今は見られなくなったが、以前は蒸気機関車が走っており、現代の電車と異なる構造や高熱の煙に対応するため、建物には採光用の大きな窓ガラスが設置され、3種の異なる高さの建物に17の収容線を引き込み、更に収容線の間にはジョイントを配し、コンクリートの伸縮や地震の揺れを緩衝して巨大建物の崩壊を防いでいる。子供から大人全てが興味を持てる施設で、特に鉄道ファンには堪らない魅力のようである。



岡山県津山市大谷 JR津山駅から徒歩約10分 <http://www.tsuyamakan.jp/manabi/>

27 王子が岳公園 渋川海岸

岡山市の南、倉敷市児島の東隣は玉野市。昭和世代には本州玄関として宇高連絡船の宇野港が懐かしい。玉野は造船の街で、自衛艦や巡視船など大型艦がここで造られている。宇野港の西は海に突出し、その頂上、標高 234m にある王子が岳公園に立つと、瀬戸内海国立公園の島々と海、瀬戸大橋、そして遙か四国を一望できる。近辺は大きな巨岩・奇岩が著しく張り出し、ボルダリングやパラグライダーの愛好家を誘う。王子が岳の麓には、西日本で屈指の規模の渋川海岸があり、風は涼しさを感じ、寄せる波は内海らしく実に優しい。海岸に一足踏み入ると瀬戸内海にいる自分を実感し、静寂な渚に囲まれ素晴らしい自然を感じることができる。



岡山県玉野市渋川 4 丁目 JR 宇野駅からバス（王子が岳行き）で王子が岳国民宿舎前まで約 40 分、頂上まで徒歩で約 45 分

<https://tamanokankou.com/spot/323/>

28 日本のエーゲ海 日生 邑久、牛窓、前島、ヴィーナスロード

岡山県南東に位置し、兵庫県との県境で接している備前市日生（ひなせ）から西へ片上湾、瀬戸内市邑久から錦海湾、牛窓に至る海岸線は、入江や岬が入り組んだリアス式海岸となっている。日生の沖には大小 13 の島があり、牡蠣の生産が有名である。牛窓沖からフェリーで 5 分の前島は、斜面のオリーブ畑といった異国情緒にサイクリングコースや宿泊施設が整い、この一帯は「日本のエーゲ海」として、また「日本の夕陽 100 選」としても知られる。この島には大坂城再建の際に石切した「大坂城築城残石群」もあり、自然と地理と共に歴史に想いを馳せることもできる。干潮には、隣の黒島は 3 つの島が弓形につながる全長 800m の砂の道が現れ「ヴィーナスロード」と呼ばれる。ここで拾う石が恋愛成就につながるといわれ、若人のパワースポットである。この海岸線に沿って南には小豆島が一望できる。



瀬戸内市牛窓町牛窓 JR 邑久駅から牛窓行きバス約 20 分、「本蓮寺下」下車徒歩すぐ

<https://www.i-setouchi.org/spot/10239>

・29 笠岡市立カブトガニ博物館

カブトガニは古生代の生き物、2億年前から生き続け、6500万年前の恐竜絶滅期をも乗り越えた節足動物で、ドーム状の体に一本の剣のような尾を持つ。瀬戸内海から北部九州沿岸に生息するが、数も場所も減り続けている。笠岡市生江浜（おえはま）は代表的な生息・繁殖場所の一つで、1928年（昭和3年）から2015年（平成27年）まで国内唯一、国の天然記念物に指定される。水温が18℃以上で活動、夜間満潮時に最も活発になる。よって活動期は6月から9月、あとは潜って冬眠、25年生きるとされる。水温25℃以上の7月から8月の大潮の真夜中満潮1時間前にオス・メス抱合して海岸に近づき、産卵する。その光景は神秘的で、また夫婦仲の良い縁起物とする地域もある。



岡山県笠岡市横島 1946-2 JR 笠岡駅から神島外浦行きバス約 20 分

<https://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/kabutogani/>

・30 中国地方の子守唄：山陽道～矢掛本陣～美星天文台

総社発の井原鉄道は古の山陽道を走る。宿場町の矢掛には本陣・脇本陣が置かれ、多くの建物が国の重要文化財に指定、毎年11月に大名行列が行われている。北隣りの美星町は井原市の一部で、「美しい星空」が有名である。1993年に美星天文台、2000年に美星スペースガードセンターが設置され、他例のない「美しい星空を守る美星町光害防止条例」を制定し、素晴らしい自然を誇っている。当地伝承の民謡を編曲した山田耕筰の名曲「中国地方の子守唄」は、この地に生きる人々の姿を情感込めて歌い上げている。



[旧矢掛本陣石井家住宅]

岡山県小田郡矢掛町矢掛 3079 井原鉄道 矢掛駅から徒歩約 10 分

<https://www.yakage-kanko.net/spot/5/>

[美星天文台]

岡山県井原市美星町大倉 1723-70 井原鉄道 矢掛駅からタクシー約 20 分

<https://www.bao.city.ibara.okayama.jp/>

31 はんざきセンター

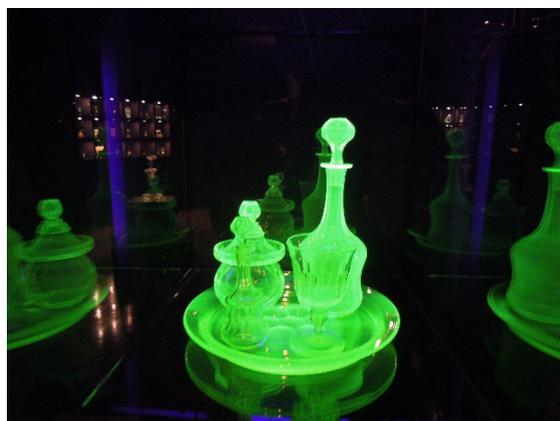
岡山県北に国の特別天然記念物のオオサンショウウオが棲息する。口が大きく開き、地元では「はんざき」と呼ばれている。巨大はんざきが人を飲み、退治したら災いが続いた伝説から、湯原温泉に「はんざき大明神」が祀られ、毎年8月8日にお祭があり、隣接の「はんざきセンター」では飼育や骨格標本を見学できる。「はんざき」は長寿で、シーボルトの49年間飼育が最長とされたが、川崎医科大学で飼育されているオオサンショウウオは、日本原産ではないが1959年生の記録があり、私より1歳上、長生きである。古来生き続けた「はんざき」には遺伝型など地域により細かな種別があるらしく、自然環境の指標になるかもしれない。



岡山県真庭市豊栄 1530 JR 中国勝山駅からバスで約 35 分、「湯原振興局前」で下車して徒歩約 1 分 <https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/60/2664.html>

32 人形峠 妖精の森ガラス美術館

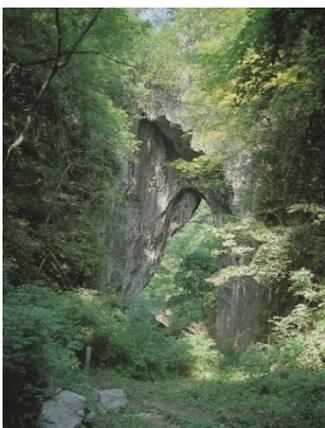
小学校の社会科で日本でもウランがとれると習った。鳥取県三朝温泉につながる県境の人形峠がその地である。県北の名勝・奥津溪に沿って北上すると堅固な柵が現れ、その先に日本原子力研究開発機構環境技術センターがある。夏は涼しく秋も紅葉で美しいが、冬は雪と凍結に阻まれる。峠手前の『妖精の森ガラス美術館』では隣接工房で作られて販売されるガラス器細工が人気。暗闇でブラックライトをかざすと黄緑色に宙に浮ぶウラン発光は、神秘の妖精のようだ。



岡山県苫田郡鏡野町上齋原 666-5 JR 津山駅からごんごバス、中鉄北部バスで約 110 分 <https://fairywood.jp/>

・33 羅生門 新見

羅生門と言えば、芥川龍之介短編「藪の中」を黒澤明監督が映画化した名作を思い浮かべる。古都の建築を舞台に、心の藪の中にある人間のエゴイズムを表現し、国際的に高く評価されている。一方、県北の新見の山中にある「羅生門」は、自然が作った実に神秘的なアーケードで、鍾乳洞が落ち込み、藪の中の奥底の、地中から露出した石灰岩巨石による自然の形態の表現。国指定天然記念物となっている。山口県秋吉台の秋芳洞から連続した中国山地カルスト地形にあり、ここから岡山三大河川の高梁川の源流へ清水を注いでいる。近くの「羅生門さくら公園」の11種類700本の桜は、品種の多さとこの地の気候で、大型連休まで花見ができる。



岡山県新見市草間 JR 井倉駅からタクシー約30分

<https://www.okayama-kanko.jp/spot/10999>

・34 湯郷温泉 奥津温泉 湯原温泉

岡山は温泉が豊富である。県北は中国山地にあり大小の名湯が数知れない。特に東から、湯郷温泉（美作市）、奥津温泉（鏡野町）、湯原温泉（真庭市）と、代表的な温泉郷には幾つもの温泉、旅館、遊歩道などがあり、春は桜、夏は避暑、秋は紅葉、冬は雪、四季折々の自然が実に豊かである。そんな自然に囲まれた温泉は極上の更なる極みと言うべきで、心身の疲れを癒し日常を忘れさせる。山菜や猪鍋、川魚など、地元料理は美味この上ない。点在の道の駅、土産物店には、他の地域では得られない郷土名物が多種多彩で、来訪者の興味を引いている。



〔湯郷温泉〕美作市湯郷 JR 林野駅から岡山行きバス約10分「湯郷下」下車、徒歩約5分

〔奥津温泉〕苫田郡鏡野町奥津・奥津川西 JR 津山駅から奥津温泉行きバス約60分「奥津温泉」下車

〔湯原温泉〕真庭市湯原温泉 JR 中国勝山駅からコミュニティバス『まにわくん♡』湯原温泉・蒜山高原行きバス約35分「湯原温泉」下車

<https://www.okayama-kanko.jp/feature/onsen/top>

・35 北庄棚田・上靱棚田 久米南町

水田には平地が必要だが、山間地の水田確保は難しい。そこで人々は知恵をめぐらし、山間では斜面を耕作し、限られた平地を階段状に積み重ねる「棚田」を作った。「棚田」の限られた平面の累積は、米の生産、食の確保のみならず、土砂洪水対策、水の貯留や浄化までも担う。中国山地にある久米南町の北庄棚田、上靱棚田は、共に農林水産省「日本の棚田百選」に認定されている。北庄棚田は面積 88ha で日本一を誇り、北庄中央棚田天然米生産組合では地元の小学校児童に田植えや稲刈り体験をする「田んぼの学校」を開いている。上靱棚田からは遥か瀬戸内海を遠望できる。この美しい山里の地に立つと、先人の知恵・努力・労苦に心打たれ、感謝の念を深くする。



岡山県久米郡久米南町北庄 JR 誕生寺駅からタクシーで約 15 分

https://www.town.kumenan.lg.jp/sightseeing_event/sightseeing/tanada.html

・36 蒜山高原

中国山地には大山（ダイセン）、三国山（ミクニガセン）、氷ノ山（ヒョウノセン）、扇ノ山（オウギノセン）など、センと呼ぶ山が多いが、大山南東の蒜山はヒルゼンと言う。そして「蒜」という漢字は蒜山のみに使われ、他にない地名である。語源探索サイトには、植物、昆虫、情景、自然環境などの他、英語、ドイツ語、ノルウェー語、そしてアイヌ語の類似音を推理し、興味が尽きない。その蒜山は岡山の最北端、鳥取との県境にある。のどかな高原が広がり、ジャージーやジンギスカンで行楽客に大人気である。お勧めは蒜山ハーブガーデンハーブヒルで、喫茶や食事ができて時に小コンサートも催される。愛犬と一緒に入園でき、山野を整備したドッグランも魅力。年間チケットを買い私もよく利用する。ここからは蒜山三座が一望でき、西日本最大級のラベンダー畑が実に美しい。



岡山県真庭市 JR 中国勝山駅から真庭市コミュニティーバス『まにわくん♡』で約 80 分

<https://www.maniwa.or.jp/hiruzen/>

• 37 和氣神社 和氣清麻呂

和氣清麻呂生誕の地とされる。清麻呂は姉和氣広虫と共に、宇佐八幡宮神託事件（神護景曇 3 年；769 年）に古代政権・皇統の危機を救ったとされ、また平安京遷都に多大な貢献をした。よって、その肖像は戦前の十円紙幣にもなる。広虫は孤児養育にも励んだ。神社には珍しく拝殿前に狛猪があり、猪が清麻呂を救ったと伝説がある。本殿・幣殿・釣殿・拝殿・随神門が一連となる、邑久大工による明治期建築の傑作である。表参道には和氣清麻呂像がある。



岡山県和氣郡和氣町藤野 1385 JR 和氣駅からタクシー約 10 分
<http://wake-jinjya.com/>

• 38 吉備公館址 まきび記念館 吉備真備

奈良時代の政治家・学者の吉備真備の出身地。真備は遣唐使として唐に渡り、帰国後に聖武天皇に重用されるも抗争に遭遇し、56 歳の時に再度の遣唐使を命ぜられる。唐では阿倍仲麻呂と交流、また来日に困難を繰り返した盲目の鑑真和上を遂に伴って、天平勝宝 5 年（753 年）奇跡的に帰国。その後は再び重用され、高齢に拘らず太宰府防備、怡土城築城、藤原仲麻呂の乱鎮圧の功を得て、この時代に珍しく学者として高位・右大臣に昇り、以降失脚せずに傘寿に至り生涯を全うした。備前から清麻呂、備中から真備。古代史上重要な事件が続発した時代。折しも国家危機を乗り越えた二人の人物が共に吉備国出身であった。吉備国と大和朝廷との関係を思い巡らすと、はるか昔に想いを馳せて、古代の歴史にロマンを感じるのである。



岡山県倉敷市真備町箭田 3652-1 井原鉄道 吉備真備駅から徒歩約 15 分
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/dd.aspx?menuid=3992>

•39 誕生寺 法然

仏教浄土宗開祖の法然上人の生まれ故郷。美作国、現久米南町にある。法然 9 歳の時にこの地の豪族である父・漆間時国が夜討に倒れるが、仇討ちを誓う法然を咎め、復讐の連鎖を戒める父の遺言に従い、出家し 12 歳で比叡山に登り学問の道に入る。やがて『智慧第一の法然房』と呼ばれるまでになり、下山し京で浄土宗を開祖、親鸞をはじめ多くの人々に影響を与えた。『選択本願、称名念仏』の法然の原点はここにある。



岡山県久米郡久米南町里方 808 JR 誕生寺駅から徒歩約 10 分

<https://www.tanjoji.or.jp/>

•40 円通寺 良寛

童話で古くから人々に愛される良寛和尚が、倉敷市玉島で修行したことは余り知られない。宝暦 8 年（1758 年）越後の名主の子息に生まれたが、当時の米騒動に心を痛めて出家した。出家から 22 歳で円通寺に着いた経緯も、また 12 年に及ぶ同寺での記録も詳らかではない。ただ曹洞宗の厳しい、この地での修行が、その後の「とらわれず惑わされず子供と興じ、書に優れ、詩歌謡句を愛した」良寛の、人々に親しみをこめて語り継がれた後半生を方向づけたのは確かである。



岡山県倉敷市玉島柏島 451 JR 新倉敷駅からバス「玉島中央町バス停」下車、徒歩

約 15～20 分 <https://www.entsuji-kurashiki.jp/>

•41 山中鹿介墓

戦国大名尼子氏家老の山中幸盛（通称鹿介：当地表記も鹿介、一般に鹿之介の表記が多い）は、天正6年（1578年）7月17日、捕縛連行中に、毛利の智将小早川隆景によってこの地で謀殺された。先に滅ぼされた主家の再興を「願わくば、我に七難八苦を与えたまえ」と三日月に祈った話は、戦前の修身の教科書にも載った。いかなる劣勢下にあっても忠義を貫く鹿介。令和の時代になった今もなお、その慰霊に訪れる人々の手向ける花は絶えることがない。



岡山県高梁市落合町阿部（ローソンのすぐ近く） JR 備中高梁駅からバスで約 10 分
http://takahasikanko.or.jp/modules/spot/index.php?content_id=9

•42 二刀流の里 武蔵資料館（現在整備に伴い休館中）

二刀流と言えば投・打の大谷翔平だが、本来の剣術では剣豪・宮本武蔵の「二天一流」が有名である。本差と脇差の、大・小の刀をひとつずつ片手に持つ武士の剣術のことで、転じて本来の用方が異なる二つの手段を同時に行うことを、一般に「二刀流」というようになった。その武蔵は 16 世紀末に美作国のこの地で生まれた。他に播磨国生まれの説もあるが、吉川英治の名作「宮本武蔵」の美作説以来この地が生誕地として美作市が資料館を整備し、武蔵の剣術・芸術の縁の品々を展示している。近くには宮本武蔵顕彰武蔵武道館があり、今年 58 回目となる文部科学大臣賞争奪宮本武蔵顕彰小中学生剣道大会が毎年開催されている。



岡山県美作市宮本 94 智頭急行 宮本武蔵駅から徒歩約 15 分

https://www.city.mimasaka.lg.jp/kanko/spot/history_culture/musashi/1461540565640.html

•43 緒方洪庵誕生地

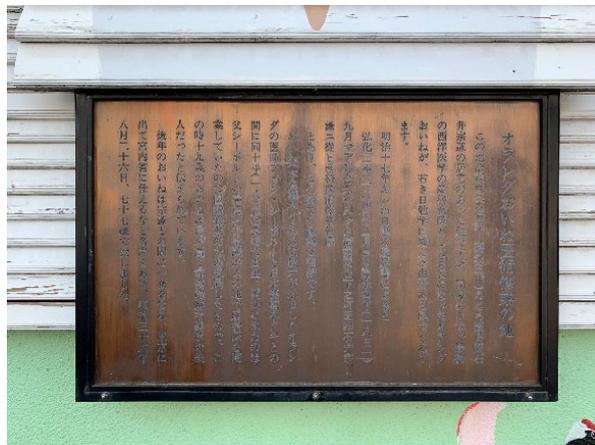
緒方洪庵は近代日本医学の祖。備中国足守藩士の子息。医学と蘭学を学び医師となり、種痘による天然痘の治療に貢献した。大坂に開いた適塾（後の大阪大学）では、福沢諭吉、橋本左内、大村益次郎など多くの人材を育成した。ドイツ医学者 Hufeland の教えを元に洪庵が著述の『扶氏医戒乃略』は現代にも通用し、古代ギリシャの Hippocrates の『ヒポクラテスの誓い』と共に、私は最初の解剖学講義に、医学の基礎として医学生に授けている。生誕地の記念碑に洪庵の臍の緒、産毛、元服の遺髪が埋まり、のどかな山河を見渡すたびに、洪庵が医学を志した原点に思いを馳せ、初心に帰る気持ちができる。



岡山県岡山市北区足守 JR 岡山駅から大井行バス約 45 分、足守郵便局前下車徒歩約 5 分
<https://www.city.okayama.jp/museum/okayama-history/05ogatakoan-seitanchi.htm>

•44 岡山表町オランダ通り 楠本イネ

岡山市中心街表町の横にオランダ通りがあり、オランダいねが学んだという顕彰板がある。長崎商館医師シーボルトの娘・楠本イネは 2 歳の時に父が帰国。長じて父の弟子・二宮敬作を頼り伊予国卯之町（現西予市）で医学を学んだ。更に父の弟子で岡山の石井宗謙に 6 年余産科を学んだが、そこで宗謙との間に娘高子が生まれる。その後、大村益次郎（臨終に際し救命処置に携わる）、ボードウィン、再来日した父に学び、宇和島藩にて厚遇されて後上京し、宮内庁御用掛となる。医師国家試験施行前に、日本最初の女医がここで学んでいた。



岡山県岡山市北区表町 2-2-31 JR 岡山駅から岡山電気軌道 東山行に乗り 「県庁通り駅」で下車、徒歩 1 分

•45 犬養木堂記念館 犬養毅

犬養毅は倉敷と岡山の中程、川入の生まれ（現岡山市北区川入）。号は木堂。上京し、漢学塾・二松學舎にて倉敷中島出身の同學舎学祖・三島中洲に漢学を学ぶ。後に第29代総理大臣となるが、翌年五・一五事件で軍人暴徒に襲われ、「話を聞こう」と言うも、「問答無用」と凶弾に倒れる。のどかな田園に囲まれた江戸前期築の生家は国の重要文化財として現存し、隣接する木堂記念館は、私の慣れ親しむ、犬との散歩道中にある。地元民は毎年命日に木堂祭りを営み、講演会、生け花展示、箏の演奏などを催して遺徳を偲んでいる。



岡山県岡山市北区川入 102-1 JR 庭瀬駅からタクシー約5分、または徒歩約25分

<https://inukaibokudo.jp/>

•46 谷崎潤一郎疎開宅

谷崎潤一郎は昭和20年に津山に、次いで勝山に疎開し、代表作『細雪』を執筆した。終戦2日前から永井荷風を招き、終戦日に荷風を見送った直後に玉音放送を聴いたと谷崎日記に記してある。静かな城下町・勝山にあって、敗戦を予期してか、国滅びても文章にて日本の美を残そうと、綺麗な白足袋故に採用したという当地国民学校教員・野崎益子に、毎日の原稿を持たせ、大切にと託したという。住居と書斎は勝山商店街の旦酒店が店の裏に現存し、谷崎直筆の色紙の展示や、ゆかりの酒の販売がある。（岡山には横溝正史なども疎開している）



岡山県真庭市勝山 170 JR 中国勝山駅から徒歩約10分

<https://www.maniwa.or.jp/web/?c=spot-2&pk=49>

•47 雪舟生誕地公園

雪舟は室町時代の禅僧で画家。備中国赤浜（現在の総社市赤浜）の武家に生まれる。幼い頃に仏門に入り、京に上り相国寺で禅と画を学ぶ。その後周防国（現山口県）、さらに遣明船で明に渡り、水墨画を2年間学んで帰国した。帰国後は、周防国、豊後国（現大分県）、石見国（現島根県）、美濃国（現岐阜県）、丹後国（現京都府）で活動し、『秋冬山水図』（現東京国立博物館蔵）など国宝6点、重要文化財10数点を残し、狩野派の画家より師と仰がれた。雪舟生誕600年を記念し、生家跡は地元民らにより公園として整備され、国宝6点の銅版画などの展示室や銅像がある。



岡山県総社市赤浜 2025 JR 足守駅からタクシーで約5分

https://www.city.soja.okayama.jp/bunka/bunka_sport/bunka/sessyu/sesshu_park.html

•48 竹久夢二 夢二郷土美術館 夢二生家記念館

「待てど暮らせど来ぬ人を 宵待草のやるせなさ 今宵は月も出ぬさうな」 哀愁に満ちたこの歌『宵待草』は、デモクラシー、モダニズム、そしてダンディズムが短くも華咲いた大正の、その折り返し点の大正7年（1918年）に発表された。作詞者は竹久夢二。第一次世界大戦とスペイン風邪の時代である。夢二は明治17年（1884年）岡山県邑久郡本庄村（現瀬戸内市邑久町本庄）生まれ、15歳で故郷を出て、神戸、北九州を経て上京し早稲田実業に学ぶ。在学中より絵を発表し、『婦人グラフ』など雑誌や楽譜の挿絵で好評を得るが、渡米・渡欧後に病を得て、50年の短い生涯を終えた。近年、夢二の評価は高まっている。昭和41年（1966年）「竹久夢二郷土美術館」設立。故郷邑久町に「夢二生家」が整備、夢二生誕100年を記念し「竹久夢二郷土美術館」新本館が開館した。初代館長・松田基氏の評「美神の恩寵をうけ、明治末期から大正、昭和の初期にかけ時代の寵児として一世を風靡し、美の創造にその生命を燃焼しつくして、漂泊とロマンの五十年の生涯を終えた」は至言である。



岡山県瀬戸内市邑久町本庄 2000-1 JR 邑久駅からバスまたはタクシーで約10分

<https://yumeji-art-museum.com/>

・49 瀬戸大橋 櫃石島 東山魁夷 東山魁夷せとうち美術館

倉敷南端の瀬戸大橋は、5つの島の上に架かる6つの橋梁を含め10の橋から成り、全長13km。鉄道・車では15～20分で四国へつなぐ。昭和63年の開通前は宇高連絡船・フェリー（宇野～高松）で1時間かかった。県境を越えて最初の橋桁の立つ香川県櫃石島は画家・東山魁夷の父の故郷。魁夷も夫人同伴で訪れ、東山姓を含む島民と親交した。瀬戸大橋南端の坂出には『東山魁夷瀬戸内美術館』があり、夫人から寄贈された作品・版画が常設展示され、脇の大窓からは櫃石島と本州・倉敷を望める。魁夷は青を基調とする山・雲・海の風景画を多く描いているが、その根源が先祖への望郷でなかろうかと、この地に立つと感じてしまう。



〔櫃石島〕香川県坂出市櫃石 JR 児島駅から琴参バス瀬戸大橋線利用で約20分、櫃石バス
停下車 <https://www.pref.kagawa.lg.jp/chiiki/seto-island/detail/hitsuishijima.html>

〔東山魁夷せとうち美術館〕香川県坂出市沙弥島字南通 224-13 JR 坂出駅からバスかタク
シーで約20分 <https://www.pref.kagawa.lg.jp/higasiyamakaii/higashiyama/index.html>

・50 大山名人記念館 大山康晴

将棋の大山康晴十五世名人は倉敷西阿知の出身、倉敷市名誉市民、将棋界で初の文化功労者。昭和27年（1952年）当時、史上最年少の名人となった。兄弟子・升田幸三との激闘の姿は、今なお将棋界に語り継がれる。大山の全盛期は高度成長時代にあり、その時々のタイトルを独占して三冠・四冠・五冠を次々に達成・連覇し、また当時台頭する若手の挑戦を受け潰し、後の名棋士はしっかりと鍛えられた。肝臓癌で闘病中にもA級順位戦で競い続け、現役のまま生涯を終える。終盤の粘り、多彩な番外戦など、以前より史上最強棋士の声も少なくない。AI時代の藤井聡太竜王名人と全盛期の大山名人がもし戦えば、というのは叶わぬ夢、しかし、いい勝負になるのではないか、と思うのは昭和育ちの臍負目か、しかし私だけではないだろう。



岡山県倉敷市中央 1-1-15 JR 倉敷駅から徒歩約15分 <https://arsk.jp/oyama/>